

BladeSymphony

BS500
BS2000

内蔵ファイバチャンネルスイッチモジュール
ライセンス・インストール手順書



EMA0001688-E

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複製することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- Brocade 社の Web サイトの表示内容は、予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 輸出時の注意
本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

登録商標・商標について

本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

本書の内容はすべて著作権により保護されています。本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2009,2014 All rights reserved.



はじめに

このたびは日立の内蔵ファイバチャネルスイッチライセンスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、ライセンスをインストールするために必要な事柄について記載しています。

マニュアルの表記

□ マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

-  **警告** : システムダウンの恐れがある注意書きを示します。
-  **注意** : ライセンスアップデート作業に支障がある注意書きを示します。

目次

重要なお知らせ.....	2
登録商標・商標について.....	2
著作権について.....	2
マニュアルの表記.....	3
1 お使いになる前に	6
適用.....	6
ご確認いただくこと.....	8
事前にご準備いただくこと.....	8
ライセンス使用時の注意事項.....	9
2 ご準備いただくもの.....	10
1. 弊社より提供するもの.....	10
2. お客様にてご準備頂くもの.....	12
3. 接続方法.....	13
3 事前確認.....	14
1. システム状態の確認.....	14
2. ファイバチャネルスイッチの WWN 確認.....	16
4 ユーザアカウントの作成.....	19
1. ユーザアカウントの作成方法.....	19
5 Web サイトへのログイン.....	22
1. ログインページへのアクセス.....	22
2. Software Portal へのログイン.....	22
3. ライセンスキーの入手.....	24
6 ライセンスのインストール.....	26
1. Port Upgrade ライセンスのインストール.....	26
2. Fabric Watch ライセンスのインストール.....	29
3. ISL Trunking ライセンスのインストール.....	31
4. Fabric Vision ライセンスのインストール.....	34
7 推奨構成情報のダウンロード.....	36
1. BladeSymphony 状態の確認.....	36
2. 推奨構成情報のダウンロード手順.....	37

8 終了処理.....	39
9 困ったときには	40

1

お使いになる前に

この章では、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールの各ライセンスのインストールを行う前に知っておいていただきたい内容について説明します。

適用

本説明書は、BladeSymphony 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール用の下記ライセンスのインストール方法について記載しています。

8Gbpsファイバチャネルスイッチ ライセンス名	形名	
	BS2000用	BS500用
Port Upgrade ライセンス (Ports On Demand(POD)ライセンス)	GV-BE2FSL1N1	GG-BE3FSL1N1
ISL Trunkingライセンス	GV-BE2FSL2N1	GG-BE3FSL2N1
Fabric Watchライセンス	GV-BE2FSL3N1	GG-BE3FSL3N1

16Gbpsファイバチャネルスイッチ ライセンス名	形名
	BS500用
Port Upgrade ライセンス (Ports On Demand(POD)ライセンス)	GG-BE3FSL4N1
ISL Trunkingライセンス	GG-BE3FSL2N1
Fabric Visionライセンス	GG-BE3FSL5N1

また内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールをご使用の際には、併せて以下のマニュアルを参照してください。なお、参照して頂くマニュアルは内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールが搭載されているシステムにより異なります。

(1) システムがBS2000の場合

- BladeSymphony BS2000 ユーザーズガイド
- BladeSymphony 内蔵ファイバチャネルスイッチ ユーザーズガイド

(2) システムが BS500 の場合

- BladeSymphony BS500 スタートアップガイド
- BladeSymphony BS500 スイッチモジュール セットアップガイド
- BladeSymphony BS500 マネジメントモジュール セットアップガイド
- BladeSymphony BS500 Web コンソール セットアップガイド
- BladeSymphony BS500 CLI コンソール セットアップ ガイド
- BladeSymphony 内蔵ファイバチャネルスイッチ ユーザーズガイド

ご確認いただくこと

ご使用になる前に次のことをご確認ください。万一不具合がありましたらお手数ですが、お買い求め先にご連絡ください。

- 形式がご注文通りのものですか。
- 添付品一覧表記載の付属品は全てそろっていますか。

また、別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず内容を確認してください。

事前にご準備いただくこと

添付品一覧表の“Software License Package トランザクションキー 記載用紙”に記載されているトランザクションキーを直接内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールにインストールすることはできません。内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールにライセンスをインストールするためには、ファイバチャネルスイッチごとに持っている個別の情報（WWN）とトランザクションキーを使って Brocade 社の Web サイトから“ライセンスキー”を入手していただく必要があります。ライセンスキー入手の手順は以下の通りです。

- (1) インストールするファイバチャネルスイッチの WWN を確認します
- (2) Brocade 社 Web サイトにアクセスしてログインアカウントを登録します。
- (3) 登録したログインアカウントを使って Brocade 社 Web サイト（SoftwarePortal サイト）にログインし、トランザクションキーと WWN からライセンスキーを取得します。

注意

- Brocade社Webサイトにログインアカウントを登録後、ライセンスキーを取得できるサイト（SoftwarePortalサイト）で実際にライセンスキーの入手が可能となるまでに時間（日数）がかかる場合があります。このためログインアカウントの登録はライセンスキーが必要な日（スイッチにライセンスをインストールする日）よりも以前に済ませた上で、登録したアカウントでSoftwarePortalサイトへのアクセスが可能なことを確認してください。
- Brocade社のWebサイトの表示内容は、予告なく変更されることがあります。Brocade社のWebサイトにアクセスした際に本マニュアルの記載と異なるメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージに従って操作してください。

ライセンス使用時の注意事項

お買い上げ頂いたライセンスの機能を有効するためには、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールにライセンスをインストールする必要があります。また、インストールするライセンスが Fabric Watch/Fabric Vision ライセンスの場合には、構成ファイル（弊社推奨の構成情報）のダウンロードも必要となります。

■Port Upgrade ライセンス/ISL Trunking ライセンスの場合

- （１）Port Upgrade ライセンス、または ISL Trunking ライセンスをインストールする

■Fabric Watch ライセンス/Fabric Vision ライセンスの場合

- （１）Fabric Watch ライセンス、または Fabric Vision ライセンスをインストールする
- （２）構成ファイル（弊社推奨の構成情報）をダウンロードする

本マニュアルは、（１）ライセンスをインストールする および（２）構成ファイル（弊社推奨の構成情報）のダウンロードについて記載しています。

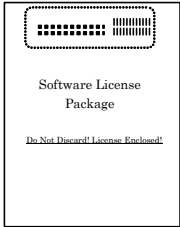
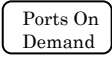

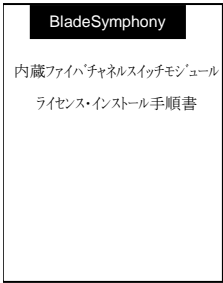
2

ご準備いただくもの

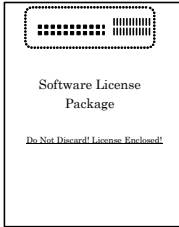
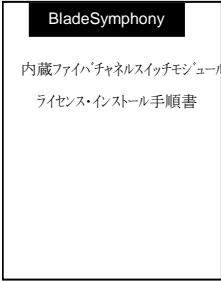
この章では、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール用のライセンスをインストールする時に、準備して頂くものおよび接続方法について説明します。

1. 弊社より提供するもの

(1) Port Upgrade/ISL Trunking ライセンスの場合

Software License Package トランザクションキー 記載用紙	ライセンス シール	内蔵ファイバチャネル スイッチモジュール ライセンス・インストール 手順書 (本手順書)
	[PortUpgrade] ライセンス シール  または [ISL Trunking] ライセンス シール 	

(2) Fabric Watch/Fabric Vision ライセンスの場合

<p>Software License Package トランザクションキー 記載用紙</p>	<p>ライセンスシール</p>	<p>内蔵ファイバチャネル スイッチモジュール ライセンス・インストール 手順書 (本手順書)</p>
 <p>Software License Package <small>Do Not Discard! License Enclosed!</small></p>	<p>[Fabric Watch] ライセンス シール</p> <p>Fabric Watch</p> <p>または</p> <p>[Fabric Vision] ライセンス シール</p> <p>Fabric Vision</p>	 <p>BladeSymphony</p> <p>内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール ライセンス・インストール手順書</p>

<p>内蔵ファイバチャネルスイッチ装 置添付CD 「Fibre Channel Switch Accessory CD」</p>


2. お客様にてご準備頂くもの

ライセンスをインストールするためには、お客様にて下記機材を準備して頂く必要があります。

(1) ライセンスキー取得用機材

ファイバチャネルスイッチにインストールするライセンスを取得するためには、下記の機材が必要です。

準備機材	機材条件
パソコン 1台	インターネットアクセス(*1)可能なこと Webブラウザ使用可能なこと

(*1) インターネットへのアクセス環境は、お客様でご準備ください。

(2) ファイバチャネルスイッチ接続用機材

ファイバチャネルスイッチへの接続には、下記の機材が必要です。

準備機材	機材条件
パソコン 1台 (*1)	LAN接続が可能なこと telnetが使用可能なこと (Tera Term/ハイパーターミナル 等)
LANケーブル (クロスケーブル(*2)) 1本 (*1)	カテゴリ5

(*1) 既に内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコンを、管理等の目的でLAN接続して使用している場合は、既に接続しているパソコンとLAN環境を使用しても構いません。

(*2) 8Gbps内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールのLANポートから接続する場合で、LANケーブル クロスが準備できない場合は、LANケーブル ストレート2本とHUBを準備願います。
マネージメントモジュールのLANポートから接続する場合は、ストレートケーブルでも構いません。

3. 接続方法

ファイバチャネルスイッチのコマンドオペレーションを実施するために、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールに接続する必要があります。ファイバチャネルスイッチモジュールに接続するにはマネジメントモジュールの LAN ポートから接続します。また、8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールをご使用の場合は、スイッチ前面の LAN ポートから接続する方法があります。どちらの LAN ポートを使用するかは、マネジメントモジュールの Web コンソールまたは CLI コンソールで設定します。LAN ポートの接続、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールの取り扱い、および Web コンソールまたは CLI コンソールによる設定方法や確認方法に関しては、以下のマニュアルをご覧ください。

<BS2000 の場合>

- BladeSymphony BS2000 ユーザーズガイド

<BS500 の場合>

- BladeSymphony BS500 スタートアップガイド
- BladeSymphony BS500 Web コンソール セットアップガイド
- BladeSymphony BS500 CLI コンソール セットアップ ガイド

3

事前確認

この章では、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールにライセンスをインストールする前に、内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールが搭載されているBladeSymphonyの状態を事前に確認する手順について説明します。

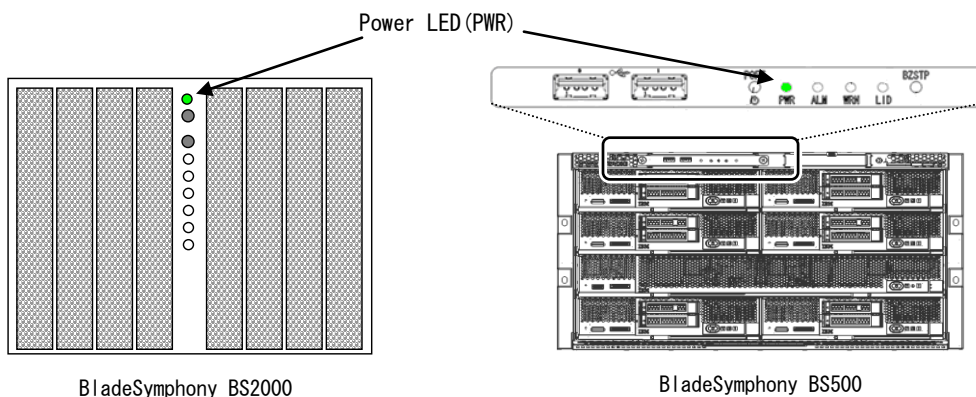
1. システム状態の確認

内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールが搭載されているBladeSymphonyの状態を確認します。

(1) BladeSymphonyの電源投入状態の確認

BladeSymphonyの電源投入状態（Power LED（PWR）の状態）は下記のどれですか？

- 緑：主電源投入状態です。
(2) サーバ稼動状態の確認 に進んでください。
- 橙（オレンジ）：スタンバイ状態です。
(2) サーバ稼動状態の確認 に進んでください。
- 消灯：電源未投入状態です。
BladeSymphonyの電源コンセント接続および電源ブレーカー投入を行い、スタンバイ状態にした後、(2) サーバ稼動状態の確認 に進んで下さい。



(2) サーバ稼働状態の確認

警告

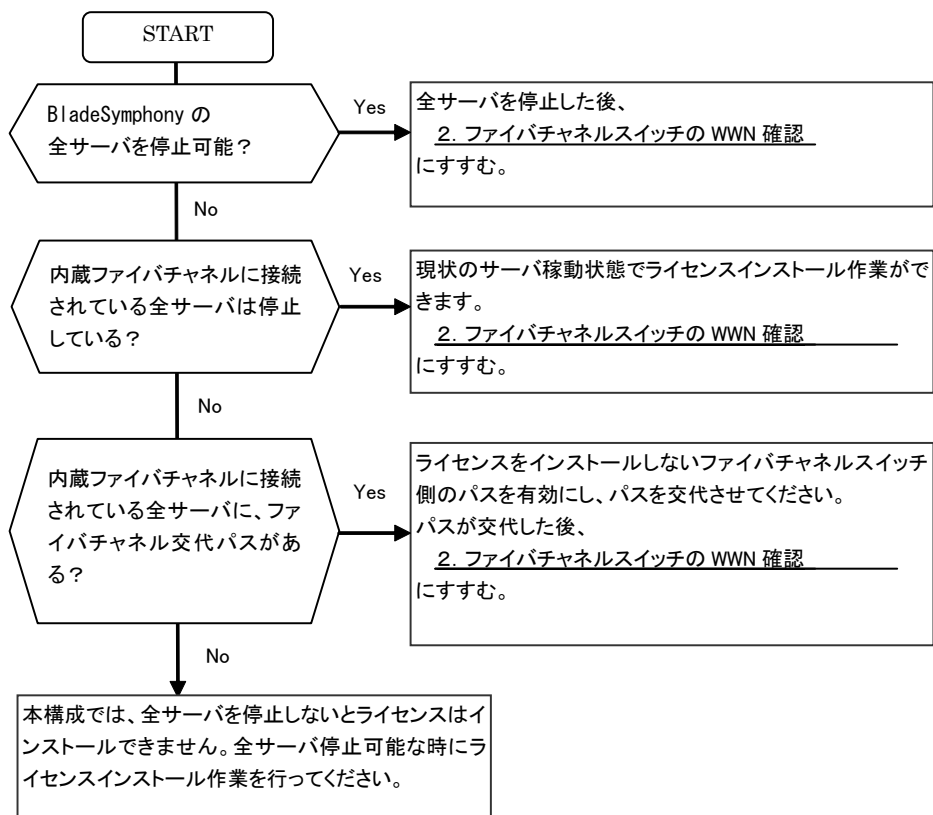
ISL Trunkingライセンスはライセンスを有効にするためにファイバチャネルスイッチのrebootを行う必要があります。また、Fabric Watch/Fabric Visionライセンスでは初期設定をするための構成情報のダウンロードを行う際に、ファイバチャネルスイッチを一旦オフラインにする必要があります。このため、接続されているデバイス（サーバ、ディスク等）とのリンクが切断され、システムダウンの恐れがあります。

サーバ稼働状態で以下のライセンスのインストールおよび構成情報のダウンロード（Fabric WatchライセンスおよびFabric Visionライセンス）する際は、必ず下記の確認/作業を行ってください。

- ISL Trunkingライセンス
- Fabric Watchライセンス
- Fabric Visionライセンス

本マニュアルの作業を行う場合、ファイバチャネルスイッチを一旦オフラインにする必要があるため、ファイバチャネルスイッチを使用しているサーバに不具合が発生する恐れがあります。このため、ライセンスインストール時には、BladeSymphonyの全サーバを停止状態（スタンバイ状態）にすることを勧めます。

下記フローに従い、サーバ稼働状態/構成を確認し、作業を行ってください。



2. ファイバチャネルスイッチの WWN確認

- (1) ファイバチャネルスイッチとLAN接続するため、マネージメントモジュールまたはファイバチャネルスイッチとパソコン（内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用）をLANケーブルで接続します。
（接続方法の詳細は、『2章 2. お客様にてご準備頂くもの（2）ファイバチャネルスイッチ接続機材』をご参照ください。）
- (2) ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet等によりファイバチャネルスイッチに接続し、管理者（admin）権限のユーザIDおよびパスワードでログインします。

Fabric OS (SW5460)

switch login: **xxxxx**

← 管理者 (admin) 権限のユーザID入力

Password: **xxxxx**

← パスワード入力

switch:admin>

※ファイバチャンネルスイッチのユーザ登録、に関しては、『BladeSymphony 内蔵ファイバチャンネルスイッチ ユーザーズガイド』をご覧ください。

※felnnetで接続する際は、マネージメントモジュール（またはファイバチャンネルスイッチ）とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- (3) 以下に本マニュアルでインストール方法を説明する各ライセンスがインストールされている場合の表示例を記載します。これらの表示例を参考にして、インストールを行おうとしているライセンスがインストールされていないことを licenseshow コマンドで確認してください。

各ライセンスがインストールされている場合の表示例：

```
switch:admin> licenseshow ← licenseshow コマンド実行
S9Rz9beQRyTASOAT:
  Fabric license ← ※Fabric license は Fabric Watch および
dQ9dzzScQeRAe0A:      Fabric Vision とは別のライセンスですので
  Extended Fabric license ← 間違えないようにご注意ください。
RyceSQ9SzzUzdfTK:
  Zoning license
RyceSQ9SzzWzdfTM:
  Performance Monitor license
SRd9Sddy9VSeATg:
  First Ports on Demand license ← additional 10 port upgrade license
Rdb9cbcSQQaecAdY:
  Trunking license ← Trunking ライセンスがインストールされている場合の表示
Rdb9cbcSQQUecAdS:
  Fabric Watch license ← Fabric Watch ライセンスがインストールされている場合の表示
RdQbyQ9cQbgeRczb:
  Fabric Vision license ← Fabric Vision ライセンスがインストールされている場合の表示

switch:admin>
```

- (4) switchshowコマンドを実行し、ファイバチャネルスイッチのWWN (switchWwn) を下記に記載し、値を控えておいてください。

```
switch:root> switchshow ← switchshow コマンド実行
switchName:    switch
switchType:    87.1
switchState:   Online
switchMode:    Native
switchRole:    Principal
switchDomain:  1
switchId:      fffc01
switchWwn:     10:00:00:05:1e:a2:00:1b ← WWNの値を控える
zoning:        OFF
switchBeacon:  OFF

Area Port Media Speed State      Proto
=====
  0  0  id   N8  No_Light
<以降の表示は省略>
```

ライセンスをインストールする ファイバチャネルスイッチの WWNを記載	<u>WWN記載</u>
---	--------------

注意

ファイバチャネルスイッチの WWN はライセンス取得に必要な情報です。

また、ライセンスはファイバチャネルスイッチごと(WWN ごと)に取得するため、他のファイバチャネルの WWN を用いてライセンスを取得してしまうと、インストールしたいファイバチャネルスイッチにライセンスをインストールできなくなります。

必ずライセンスをインストールするファイバチャネルスイッチの WWN を確認してください。

- (5) WWNを記録したら、4章 ユーザアカウントの作成 へ進んでください。
exit コマンドにて、ファイバチャネルスイッチとの telnet 接続を終了してください。

4

ユーザアカウントの作成

この章では、ライセンスキー入手用Webサイトにログインするためのユーザアカウントの作成方法について説明します。

注意

- ユーザアカウントは、一度作成したら以降は新たにアカウントを作成する必要はありません。
- Brocade社のWebサイトの表示内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルの記載と異なるメッセージが表示された場合は、表示されたメッセージに従って操作してください。

1. ユーザアカウントの作成方法

- (1) インターネット接続可能なパソコンを準備し、下記 URL より Brocade 社パートナーサイトのユーザログインページにアクセスしてください。

<https://login.brocade.com/>

上記 URL よりログインページにアクセスできない場合は下記 URL にアクセスし、ページ右上の ” MyBrocade Log in” からアクセスしてください。

<http://www.brocade.com/>

- (2) “ [register now](#) ” をクリックしてアカウントの登録を開始して下さい。
すでにユーザアカウントを取得している場合は、新たにアカウントを取得する必要はありません。以前取得したアカウントでログインすることができます。

- (3) 必要事項(*の項目)とユーザアカウント取得者の E-mail アドレスを入力して下さい。

(メールアドレスがユーザ ID となります。)

なお、記入する E-mail アドレスは会社のものを入力し、個人的に取得した E-mail アドレスは使用しないで下さい。

必要事項の入力が終了したら次に進んで下さい。

入力情報に不足や誤りがある場合は次に進めませんので、表示された内容に従って入力情報を修正して下さい。

- (4) ユーザアカウント取得者の名前や連絡先など、ユーザアカウント取得の為の必須項目(*の項目は必須)を全て入力して下さい。ユーザアカウント作成に必要な必要事項については、概ね以下の通りですが、Web サイトの内容は予告なく変更される場合がありますので、変更されている場合は Web 画面の表示に従って必要な情報を入力して下さい。

必要事項(*の項目)の一覧

YOUR PERSONAL DETAILS	Salutation	Mr. または Ms. を選択
	First Name	ユーザアカウント取得者の名
	Last Name	ユーザアカウント取得者の姓
	Company	会社名
	Job Title	役職/肩書
	Job Function	職務権限を選択
	Product of Interest	関連するプロダクトを選択
YOUR BUSINESS DETAILS	Industry	会社の業種を選択
	Number of Employees	会社の従業員数を選択
	Country	国を選択
	Address 1	住所
	City	市
	State/Province	都道府県
	Zip/Postal Code	郵便番号
	Phone 1	ユーザアカウント取得者の電話番号
	Fax	ユーザアカウント取得者の FAX 番号
YOUR SITE ACCESS DETAILS	Password	ログイン時のパスワード
	Retype Password	パスワードを再入力
	Type Security Question	パスワードを忘れた場合に再交付を受けるための質問と答えを記載 例) Today' s weather? (今日の天気は?)
	Type Security Answr	Type Security Question に対する回答 例) Fine

- (5) 必要な項目全てを入力して次の画面に進むと登録完了の画面が表示され、登録したメールアドレスに URL が記載されたメールが送信されます。
メールに記載された URL にアクセスして下さい。
- (6) メールに記載されている URL にアクセスするとユーザアカウントが有効になったことを示す画面が表示されます
Brocade 社パートナーサイトにはこの画面のリンクからアクセスすることができます。
- (7) 登録したユーザ ID とパスワードにより Brocade 社パートナーサイトにログインし、パスワードを変更して下さい。
パスワードの変更は” my account” タブ内の My Site Access > Security Access > [Change password, security Q&A](#) から実施することができます。
パスワードの変更する際にはアカウント作成時に設定した質問の答えと新しいパスワードを入力する必要があります。
- (8) “my account” タブ内の “My Brocade Modules” (画面の右端にあります) の “Generally Available Modules” の “Licensing” にチェックマークが入っているかを確認して下さい。チェックマークが無ければチェックマークを入れ “SAVE EDITS” をクリックして下さい。正しく反映されると 「Modules are successfully saved」 と表示されます。
- (9) 以上でユーザアカウントの作成と初期設定は終了です。
Web サイトよりログアウトして下さい。ライセンスキーを入手する手順については次章を参照して下さい。

5

Web サイトへのログイン

この章では、ライセンスキー入手Webサイトへのログイン方法について説明します。

1. ログインページへのアクセス

- (1) インターネット接続可能なパソコンを準備し、下記 URL より Brocade 社パートナーサイトのユーザログインページにアクセスしてください。

<https://login.brocade.com/>

上記 URL よりログインページにアクセスできない場合は下記 URL にアクセスし、ページ右上の ” MyBrocade Log in” からアクセスしてください。

<http://www.brocade.com/>

2. Software Portal へのログイン

- (1) 登録した User ID と Password をテキストボックスに入力して、 “Software Licensing ” を選択し、LOG IN ボタンをクリックしてください。

- (2) Brocade 社 Software Portal サイトにログイン後、License Management > Brocade FOS
> License Generation With Transaction Key をクリックしてください。

 **注意**

MyBrocade にアカウント登録後、さらに Software Portal サイトを利用するための追加登録が必要となる場合があります。その場合、Software Portal サイトにログインしても、“License Management” のメニューは表示されず、アカウント登録依頼を Brocade 社宛てに出すようにとのメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、メッセージに含まれているメールアドレス宛に MyBrocade で登録したアカウントで Software Portal サイトが利用できるように依頼をしてください。なお、依頼の文例を以下に記載しますので参考にしてください。

<追加登録が必要な場合に表示されるメッセージ>

※Brocade 社の Web サイトの表示内容は予告なく変更されることがあり、メッセージの表現は以下と異なる場合があります。

If you are trying to access Brocades Software Portal to activate or otherwise manage software licensed products, please submit a request to [SLK IT Team](#) to be added to a partner account in the SW Portal

↑
登録の依頼先

<追加登録を依頼する際の文例>

Dear SLK IT Team, ← メッセージに表示されたあて先名

My name is xxxx xxxx.

I registered User ID on MyBrocade, but I cannot access to Brocades Software Portal with following messages.

Software Portalサイトに移動した時に表示されたメッセージを転記してください

Please add my User ID to a partner account in the SW Portal.

My User ID : xxxxx@hitachi.com ← MyBrocadeに登録したユーザID (メールアドレス)
My User name : xxxx xxxx ← MyBrocadeに登録したお名前

Regards,
xxxx xxxx

3. ライセンスキーの入手

(1) “Brocade FOS License Generation” 画面に必要事項を入力します。

必要事項を入力後、“Add”ボタンを押してください。

Customer Information	
Customer email ID :	確認メールの送信先。
Site Name :	サイト名
Technical Contact :	“TEL” と入力 (“ ” は入力不要)
Company Name :	御社名
City :	御社住所 (区・市)
State/Province :	御社住所 (都道府県)
Zip/Postal Code :	御社郵便番号
Country :	Japan を選択
Phone :	御社電話番号
Unit Information :	
Unique ID Type	L I D を選択
Unit's Unique ID	ライセンスをインストールするファイバチャネルスイッチの WWN を入力 ライセンス・インストール手順書 3章 事前確認 の 3. ファイバチャネルスイッチのWWN確認 で 確認した WWN を入力してください。。
Transaction Key	購入したライセンスの Transaction Key を入力 Software License Package に記載されている Transaction Key を入力してください。

6

ライセンスのインストール

この章では内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールにライセンスをインストールする手順について説明します。

ライセンスのインストール手順はライセンス別に記載しています。お買い上げいただいたライセンスのインストール手順をお読みになり、ライセンスをインストールしてください。

1. Port Upgrade ライセンスのインストール

(1) BladeSymphony 状態の確認

BladeSymphony およびファイバチャネルスイッチの構成/状態が、3章 事前確認 作業実施後より変えていなければ、2. ライセンスインストール手順 へ進んでください。

3章 事前確認 作業実施後より構成/状態が変わっている場合は、3章 事前確認 1. システム状態の確認 までを実施し、ファイバチャネルスイッチを立ち上げてください。

(2) ライセンスインストール手順

- ① 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコン（内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用）をLAN接続します。
（接続方法の詳細は、『2章 2. お客様にてご準備頂くもの (2) ファイバチャネルスイッチ接続機材』をご参照ください。）
- ② ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet 等でファイバチャネルスイッチに接続し、管理者（admin）権限のユーザIDおよびパスワードでログインします。

```
Fabric OS (SW5460)

switch login: XXXXX           ← 管理者 (admin) 権限のユーザID入力
Password: XXXXX             ← パスワード入力

switch:admin>
```

※telnetで接続する際は、マネージメントモジュール（またはファイバチャネルスイッチ）とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- ③ licenseadd コマンドでライセンスキーをインストールします。
licenseadd コマンドの実行方法は、下記を参照してください。

```
switch:admin> licenseadd SRd9Sddyy9VSeATg ← licenseadd コマンド実行
adding license-key [SRd9Sddyy9VSeATg]
switch:admin>
```

License Key (ライセンスキー)
5章 3. ライセンスキーの入手方法
で入手したライセンスキーを入力

- ④ licenseshow コマンドを実行し、Ports On Demand ライセンスがインストールされたことを確認します。

```
switch:admin> licenseshow ← licenseshow コマンド実行
RSyRyze9QbSTzSz0:
  Web license
ScRSzRzbRdTdST02:
  Zoning license
bbbR9zSdQzcccSAI:
  Fabric license
SRd9Sddyy9XSeATi:
  Performance Monitor license
SRd9Sddyy9VSeATg:
  First Ports on Demand license - additional 10 port upgrade license
switch:admin>
```

Ports On Demand license インストールを確認

licenseshow コマンドのログを採取し、お客様のファイバチャネルスイッチ構成情報のバックアップ情報として FD 等に保管してください。

- ⑤ portenable コマンドを実行し、Ports On Demand ライセンスのインストールにて使用可能となった 10 個のポートを Enable にします。（下記はポート 4、5 の場合）

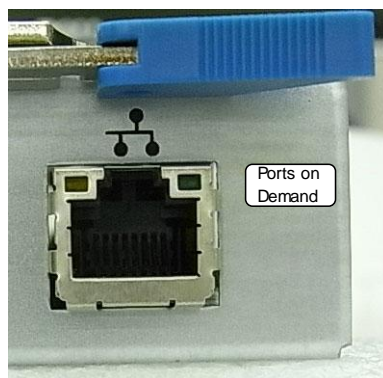
```
switch:admin> portenable 4 ← portenable コマンド実行 (port4 の Enable)
switch:admin> portenable 5 ← portenable コマンド実行 (port5 の Enable)
```

- ⑥ exit コマンドで telnet 接続を終了してください。

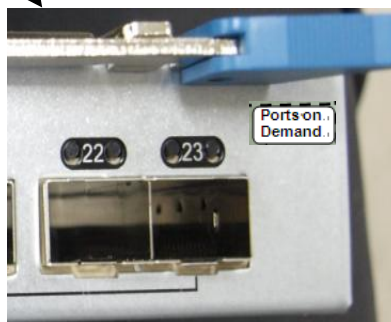
(3) 銘板の取り付け

ライセンスをインストールしたファイバチャネルスイッチ本体にライセンスシールを貼り付けてください。

<8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



<16Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



2. Fabric Watch ライセンスのインストール

(1) BladeSymphony 状態の確認

BladeSymphony およびファイバチャネルスイッチの構成/状態が、3章 事前確認 作業実施後より変えていなければ、2. ライセンスインストール手順 へ進んでください。

3章 事前確認 作業実施後より構成/状態が変わっている場合は、3章 事前確認 1. システム状態の確認までを実施し、ファイバチャネルスイッチを立ち上げてください。

(2) ライセンスインストール手順

- ① 8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコン (8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用) を LAN 接続します。
(接続方法の詳細は、『3章 3. ファイバチャネルスイッチの WWN 確認』をご参照ください。)
- ② ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet 等でファイバチャネルスイッチに接続し、管理者 (admin) 権限のユーザ ID およびパスワードでログインします。

```
Fabric OS (SW5460)
```

```
switch login: xxxxx
```

← 管理者 (admin) 権限のユーザ ID 入力

```
Password: xxxxx
```

← パスワード入力

```
switch:admin>
```

※telnet で接続する際は、マネージメントモジュール (またはファイバチャネルスイッチ) とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- ③ licenseadd コマンドでライセンスキーをインストールします。
licenseadd コマンドの実行方法は、下記を参照してください。

```
switch:admin> licenseadd Rdb9cbcsQQUecAdS
```

← licenseadd コマンド実行

```
adding license-key [Rdb9cbcsQQUecAdS]
```

```
switch:admin>
```

License Key (ライセンスキー)
5章 3. ライセンスキーの入手方法
で入手したライセンスキーを入力

- ④ licenseshow コマンドを実行し、Fabric Watch ライセンスがインストールされたことを確認します。

```
switch:admin> licenseshow ← licenseshow コマンド実行
RSyRyze9QbSTzSz0:
  Web license
Rdb9cbcSQQUecAdS:
  Fabric Watch license
ScRSzRzbRdTdST02: ← Fabric Watch license インストールを確認
  Zoning license
bbbR9zSdQzcccSAI:
  Fabric license
SRd9Sddyy9XSeATi:
  Performance Monitor license
switch:admin>
```

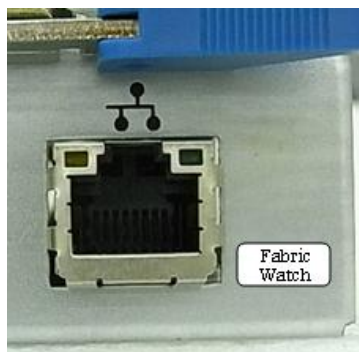
licenseshow コマンドのログを採取し、お客様のファイバチャネルスイッチ構成情報のバックアップ情報として FD 等に保管してください。

- ⑤ exit コマンドで telnet 接続を終了してください。

(3) 銘板の取り付け

ライセンスをインストールしたファイバチャネルスイッチ本体にライセンスシールを貼り付けてください。

<8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



3. ISL Trunking ライセンスのインストール

(1) BladeSymphony 状態の確認

BladeSymphony およびファイバチャネルスイッチの構成/状態が、3章 事前確認 作業実施後より変えていなければ、2. ライセンスインストール手順 へ進んでください。

3章 事前確認 作業実施後より構成/状態が変わっている場合は、3章 事前確認 1. システム状態の確認までを実施し、ファイバチャネルスイッチを立ち上げてください。

(2) ライセンスインストール手順

- ① 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコン（内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用）を LAN 接続します。
（接続方法の詳細は、『2章 2. お客様にてご準備頂くもの（2）ファイバチャネルスイッチ接続機材』をご参照ください。）
- ② ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet 等でファイバチャネルスイッチに接続し、管理者（admin）権限のユーザ ID およびパスワードでログインします。

```
Fabric OS (SW5460)
switch login: XXXXX           ← 管理者 (admin) 権限のユーザ ID 入力
Password: XXXXX             ← パスワード入力

switch:admin>
```

※telnet で接続する際は、マネージメントモジュール（またはファイバチャネルスイッチ）とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- ③ licenseadd コマンドでライセンスキーをインストールします。
licenseadd コマンドの実行方法は、下記を参照してください。

```
switch:admin> licenseadd Rdb9cbcSQQaecAdY ← licenseadd コマンド実行
adding license-key [Rdb9cbcSQQaecAdY]
For license change to take effect, use portdisable/portenable or
switchdisable/switchenable commands...
switch:admin>
```

License Key (ライセンスキー)
5章 3. ライセンスキーの入手方法
で入手したライセンスキーを入力

- ④ インストールしたライセンスを有効にするために、ファイバチャネルスイッチの Disable/Enable コマンドを実行します

```
switch:admin> switchdisable ← switchdisable コマンド実行

ファイバチャネルスイッチが disable になるまで、30 秒ほど待つ

switch:admin> switchenable ← switchenable コマンド実行
```

- ⑤ licenseshow コマンドを実行し、ISL Trunking ライセンスがインストールされたことを確認します。

```
switch:admin> licenseshow ← licenseshow コマンド実行
RSyRyze9QbSTzSz0:
  Web license
ScRSzRzbRdTdST02:
  Zoning license
bbbR9zSdQzcccSAI:
  Fabric license
Rdb9cbcSQQaecAdY:
  Trunking license ← ISL Trunking license インストールを確認
SRd9Sddy9XSeATi:
  Performance Monitor license
switch:admin>
```

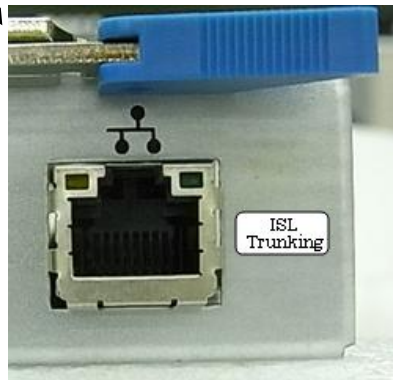
licenseshow コマンドのログを採取し、お客様のファイバチャネルスイッチ構成情報のバックアップ情報として FD 等に保管してください。

- ⑥ exit コマンドで telnet 接続を終了してください。

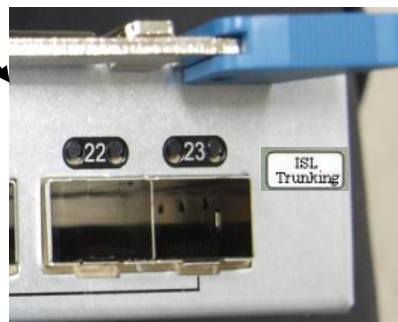
(3) 銘板の取り付け

ライセンスをインストールしたファイバチャネルスイッチ本体にライセンスシールを貼り付けてください。

<8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



<16Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



4. Fabric Vision ライセンスのインストール

(1) BladeSymphony 状態の確認

BladeSymphony およびファイバチャネルスイッチの構成/状態が、3章 事前確認 作業実施後より変えていなければ、2. ライセンスインストール手順 へ進んでください。

3章 事前確認 作業実施後より構成/状態が変わっている場合は、3章 事前確認 1. システム状態の確認までを実施し、ファイバチャネルスイッチを立ち上げてください。

(2) ライセンスインストール手順

- ① 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコン（内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用）を LAN 接続します。
（接続方法の詳細は、『2章 2. お客様にてご準備頂くもの（2）ファイバチャネルスイッチ接続機材』をご参照ください。）
- ② ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet 等でファイバチャネルスイッチに接続し、管理者（admin）権限のユーザ ID およびパスワードでログインします。

```
Fabric OS (BR6546)
```

```
switch login: XXXXX
```

← 管理者 (admin) 権限のユーザ ID 入力

```
Password: XXXXX
```

← パスワード入力

```
switch:admin>
```

※telnet で接続する際は、マネージメントモジュール（またはファイバチャネルスイッチ）とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- ③ licenseadd コマンドでライセンスキーをインストールします。
licenseadd コマンドの実行方法は、下記を参照してください。

```
switch:admin> licenseadd RdQbyQ9cQbgeRczb
```

← licenseadd コマンド実行

```
adding license-key [RdQbyQ9cQbgeRczb]
```

```
..
```

```
switch:admin>
```

License Key (ライセンスキー)
5章 3. ライセンスキーの入手方法
で入手したライセンスキーを入力

- ④ licenseshow コマンドを実行し、Fabric Vision ライセンスがインストールされたことを確認します。

```
switch:admin> licenseshow ← licenseshow コマンド実行
b9RbQdyRzQcAScRu:
  Fabric license
RdQbyQ9cQbgeRczb:
  Fabric Vision license ← Fabric Vision license インストールを確認
mm4ZFTMFNZEXFga7m7JA4ArGX9DKBm3aB7BGL:
  Enhanced Group Management license
```

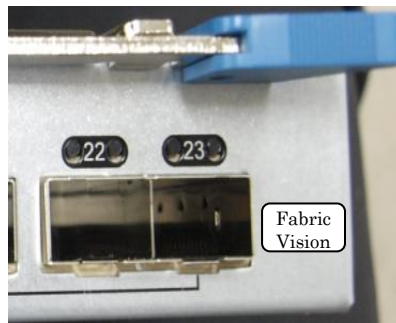
licenseshow コマンドのログを採取し、お客様のファイバチャネルスイッチ構成情報のバックアップ情報として FD 等に保管してください。

- ⑤ exit コマンドで telnet 接続を終了してください。

(3) 銘板の取り付け

ライセンスをインストールしたファイバチャネルスイッチ本体にライセンスシールを貼り付けてください。

<16Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ>



7

推奨構成情報のダウンロード

注意

本章の内容はファイバチャネルスイッチにインストールしたライセンスが Fabric Watch ライセンス、または Fabric Vision ライセンスである場合のみ実施していただく必要があります。その他のライセンスをインストールした場合は本章の内容は実施せず、そのまま次章の「終了処理」に進んでください。

Fabric Watch 機能を使用するためには、ライセンスインストール後に、構成ファイル（弊社推奨の構成情報）をファイバチャネルスイッチにダウンロードする必要があります。

本手順を実行するためには、ネットワークシステム接続された UNIX システム上で稼働している FTP サーバが必要となります。FTP サーバが接続されていない場合は、ファイバチャネルスイッチに接続している PC に「IIS FTP サーバ」（Windows 標準）をインストールすることにより、PC を FTP サーバとして使用することができるようになります。

既にファイバチャネルスイッチに FTP サーバが接続されている場合は、IIS FTP サーバのインストール手順は不要です。

IIS の FTP サーバのインストールおよび設定方法については、マイクロソフト社のホームページでご確認ください。

1. BladeSymphony 状態の確認

BladeSymphony およびファイバチャネルスイッチの構成/状態が、[3章 事前確認 作業実施後より変えていなければ](#)、[2. 推奨構成情報のダウンロード手順](#) へ進んでください。

[3章 事前確認 作業実施後より構成/状態が変わっている場合は](#)、[3章 事前確認 1. システム状態の確認](#) までを実施し、ファイバチャネルスイッチを立ち上げてください。

2. 推奨構成情報のダウンロード手順

- (1) エクスプローラを使用して、弊社推奨の構成情報ファイルをファイバチャネルスイッチに接続している PC の『C:\inetpub\ftproot』フォルダにコピーしておきます。
(フォルダはコピーせず、ファイルのみコピーしてください。)
IIS 以外の FTP サーバを使用する場合には FTP 転送用のディレクトリにコピーします。
構成ファイルはシステム内蔵 USB、またはファイバチャネルスイッチ添付 CD の中にある下記ファイルを使用します。(システム内蔵 USB はシステムが BS500 の場合のみ)

■システムが BS2000 の場合

8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ：『FWconfig_sw5460_*_2000*.txt』

■システムが BS500 の場合

8Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ：『FWconfig_sw5460_*_500*.txt』

16Gbps 内蔵ファイバチャネルスイッチ：『FWconfig_sw6546_*_500*.txt』

Fabric Visionライセンスをインストールすると16Gbps内蔵ファイバチャネルスイッチではMAPS機能を使用することもできます。MAPS機能の詳細については内蔵ファイバチャネルスイッチ ユーザーズガイド をご参照ください。

- (2) 内蔵ファイバチャネルスイッチモジュールとパソコン（内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール接続用）を LAN 接続します。
(接続方法の詳細は、『2章 2. お客様にてご準備頂くもの (2) ファイバチャネルスイッチ接続機材』をご参照ください。)
- (3) ファイバチャネルスイッチが立ち上がっている状態で、telnet 等でファイバチャネルスイッチに接続し、管理者 (admin) 権限のユーザ ID およびパスワードでログインします。

```
Fabric OS (SW5460)

switch login: XXXXX           ← 管理者 (admin) 権限のユーザ ID 入力
Password: XXXXX             ← パスワード入力

switch:admin>
```

※telnet で接続する際は、マネージメントモジュール（またはファイバチャネルスイッチ）とパソコンのネットワークアドレスを同じにしてください。

- (4) switchdisable コマンドでファイバチャネルスイッチをオフラインにします。

```
switch:admin>switchdisable    ← switchdisable コマンド入力
```

- (5) configdownload コマンドで Fabric Watch 推奨構成情報をダウンロードします。

```
switch:admin> configdownload ← configdownload コマンド入力

Protocol (scp or ftp) [ftp] : ftp ← ftp を入力
Server Name or IP Address [host] : 10.0.1.10 ← FTP サーバの IP アドレスを入力
User Name [user] : upload ← upload を入力
File Name [config.txt] : FWconfig_sw5460_r*.txt ← 構成情報のファイル名を入力
Section (all|chassis [all]):all ← all を入力
Password : password ← password を入力

*** CAUTION ***

This command is used to download a backed-up configuration
for a specific switch. If using a file from a different
switch, this file's configuration settings will override
any current switch settings. Downloading a configuration
file, which was uploaded from a different type of switch,
may cause this switch to fail. A switch reboot might be
required for some parameter changes to take effect.

configDownload operation may take several minutes
to complete for large files.

Do you want to continue (yes, y, no, n): [no]y ← y を入力

<途中省略>
configDownload complete: All config parameters are downloaded
switch:admin>
```

- (6) switchenable コマンドでファイバチャネルスイッチをオンラインにします。

```
switch:admin>switchenable ← switchenable コマンド入力
```

- (7) Fabric Watch を活性化させるために fwclassinit コマンドを実行します。

```
switch:admin>fwclassinit ← fwclassinit コマンド入力

fwClassInit: Fabric Watch is updating...
fwClassInit: Fabric Watch has been updated.
switch:admin>
```

- (8) reboot コマンドでファイバチャネルスイッチをリブートします。

```
switch:admin>reboot ← reboot コマンド入力
```

- (9) telnet 接続が終了されます。

8

終了処理

ライセンスインストールが終了したら、『3章 事前確認』で実施した内容により、下記終了処理を実施してください。

ライセンスをインストールしないファイバチャネルスイッチへのパス交代を実施して作業した場合	必要ならば、ライセンスをインストールしたファイバチャネルスイッチへのパス交代を実施してパスを戻してください。 以上で作業は終了です。
ファイバチャネルに接続されているサーバのみ停止状態で作業した場合	終了処理は不要です。 以上で作業は終了です。

9

困ったときには

この章では、本マニュアル記載の作業時に発生した不具合の対処方法について説明しています。

次の対処法を行っても不具合が改善されない場合は、お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

No.	不具合現象	確認事項・対象方法
1	誤った WWN でライセンスキーを取得してしまった。	お買い求め先にご連絡願います
2	ライセンスキー取得の Web 画面で、エラーメッセージが表示された場合。	エラーメッセージの内容を確認し、入力データ等を再度ご確認ください（特に、トランザクションキーの入力が誤っていないかをご確認ください）。
3	ファイバチャネルスイッチのエラーLED が点灯している。	『BladeSymphony 内蔵ファイバチャネルスイッチ ユーザーズガイド』のトラブルシューティングを参照し、エラー要因を取り除いてください。それでも問題が解決しない場合は、保守員にご連絡ください。

BladeSymphony BS500/BS2000
内蔵ファイバチャネルスイッチモジュール
ライセンス・インストール手順書

第 5 版 2014年 6月

無断転載を禁止します。

株式会社 日立製作所
ITプラットフォーム事業本部

〒259-1392 神奈川県秦野市掘山下 1 番地

<http://www.hitachi.co.jp>